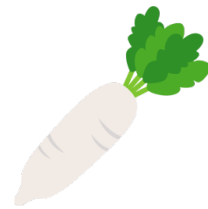


だいこん



発行日：令和4年7月8日

1. 卸売価格の動向

○115 円/kg（7月5日）

➢ 平年比：120%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○203 円/kg（6月全国平均）

➢ 前月比：99%、平年比：118%

➢ 東京：235 円（1本）

➢ 大阪：254 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20（前月 5/20）

➢ 大阪：3/10（前月 4/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○235g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：85%

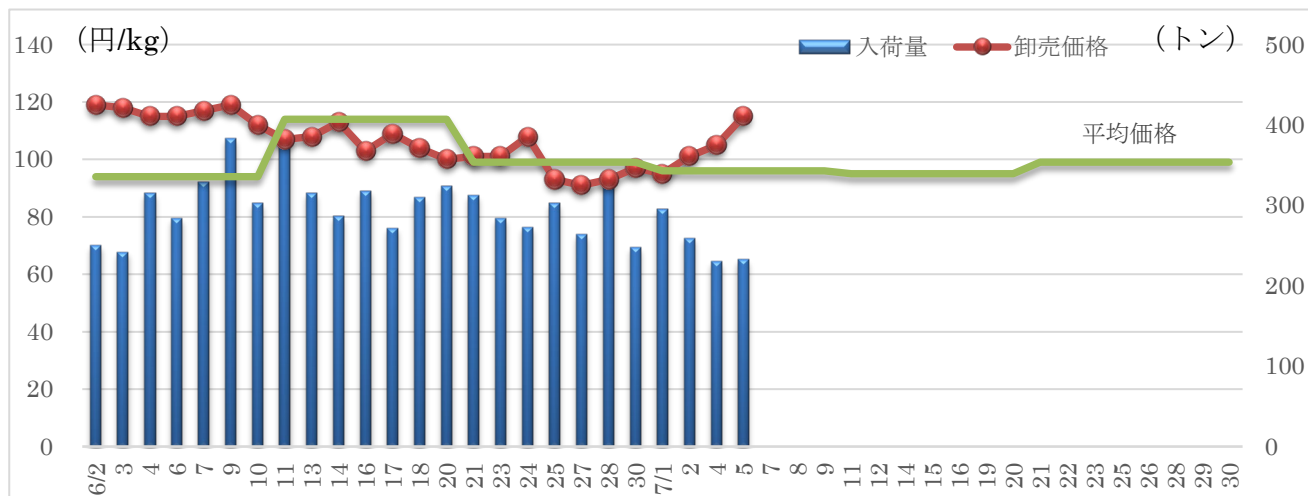
➢ 前年同月比：84%

○3,987g/人（2021 年年間）

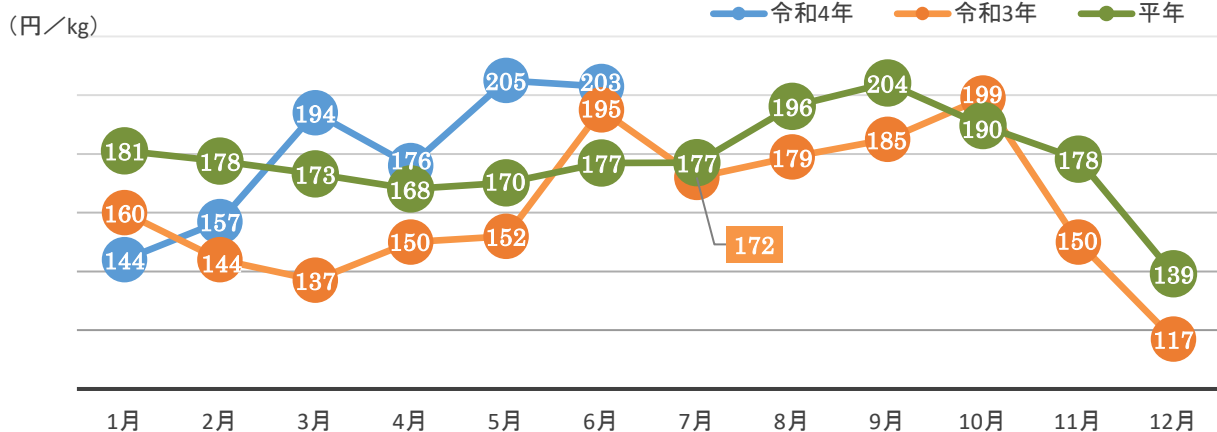
➢ 前年比：95%

（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県とうほく六ヶ所 (6/27)	前年並み	平年並み	早い	早い

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



青森県とうほく六ヶ所：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/2~7/29)

	週別の天候
7/2~7/8	北・東・西日本では、高気圧に覆われやすい時期があるため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
7/9~7/15	北・東・西日本では、高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
7/16~7/29	北日本では、天気は数日の周期で変わるとでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み

(気象庁1か月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

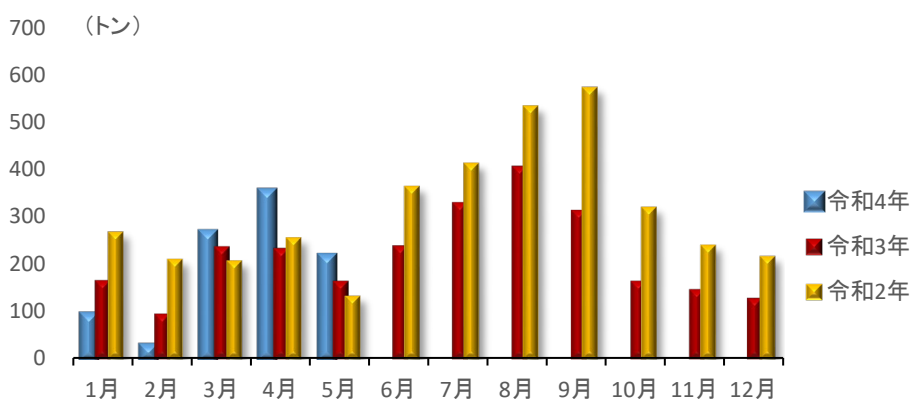
○215トン (5月輸入量)

➢ 前年同月比：134%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 188トン
- 2位 メキシコ 16トン
- 3位 オーストラリア 9トン

※平成30年4月より税番改正があったため平年比なし。
(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、終盤の千葉産などに加え、後続の青森産などが入荷となったことで、中旬に平年をやや下回る価格となりましたが、入荷量に大きな伸びがなかったことから、下旬は平年並みになりました。

7月は、生育の順調な青森産が安定して入荷することから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793